



【巻頭言】

感謝のこころ

—米蔵に餓えるネズミあり—

園長 野田大燈

平成 25 年度の新学期が始まりました。

今年度からは特に心理部分を重要視し、外部から経験豊かな専門家を非常勤講師としてお願いするなどしてソフト部分を充実させて参ります。

また学校部門では当然のごとく小学校・中学校の先生に入れ替りが多少ありましたが、自ら来年度も若竹学園で教鞭を執りたい、と教育委員会に申し入れをされて残って下さった先生もおられて嬉しい限りです。

今年は若竹学園が開園されて 20 年と言う節目と、30 名定員と言いながらも施設全体が手狭まこともありまして、全体の増改築を計画しております。

入所児童の心のケアは心理部門が、そして自立に向けてのきめ細かな指導は生活部門が担い、教育部門は教育委員会より選ばれて任命された先生方が担って下さいます。

ハード面・ソフト面の体制を整えて対処するのは施設として当然ではありますが、対応される児童の在り様が最も重大です。

児童達に「感謝」の気持ちがあるか否かで「いらぬお節介」と取られてしまったりは多くして実りなきものとなってしまいます。

古い言葉に「米蔵に飢えるネズミあり」と

言うものがあります。

米蔵にネズミの食糧となるべき米が満杯に積まれていても、米が食べれるものだという認識がなければ米に手をつけることはないでしょう。

つまり食糧に囲まれた中で餓死してしまいますので私たちの仕事の第一は「これは美味しいお米と言う食べ物で、これを食べると元気になるよ」と促すことだと思います。

中にはそのことに疑念を感じて手を付けないかも知れません。

そのために手段を尽くして児童の頑なな心で閉じた口を開いてもらはねばなりません。

その手段が心理治療であり生活指導、そして教育部門だと思います。

そして「ご飯が美味しかった。ありがとう」と言う言葉を引き出すことが成果に他ならないのではないのでしょうか。

気がつけば、ちゃんと美味しいご飯やベットと私を気遣って下さる先生や仲間がいる、と言うことが判った時に「ありがとう」と言う感謝の言葉が素直に言えるのではないのでしょうか。

施設に関わらず、物心ともにどんなに恵まれた環境に居ても、その恵まれている事に気付かなければ孤独地獄の住人です。

自分自身も認識出来ていない何かが原因で心を閉ざしてしまっている人たちの心を開き、感謝の気持ちを取り戻してもらうために若竹学園は存在するのだと思います。 一了一

お花見

今年の桜は 3 月半ばより咲き始め、4 月に入ったころに満開を迎えました。

園庭の桜も咲きほこり、子どもの希望からハーブガーデンでお茶会を催しました。ビニールシートを敷いてポットを置き、即席の野点をセットして、お抹茶を点てて頂きました。風流なひとときとなりました。



そして、園生全員でのお花見は、今年も学園から白峯寺まで歩きました。毎年恒例ですが、歩いて展望台まで行きました。



小学生から高校生まで、一斉にスタートして歩いたのですが、大きな差が出来ることなく、まとまって歩くことが出来ました。10 時に出発して、到着したのが約 1 1 時半、一時間半のハイキング、到着したら、満開の桜が待っていてくれました。

小学生から高校生まで、一斉にスタートして歩いたのですが、大きな差が出来ることなく、まとまって歩くことが出来ました。10 時に出発して、到着したのが約 1 1 時半、一時間半のハイキング、到着したら、満開の桜が待っていてくれました。



お昼ご飯を食べた後、白峯寺から歩いて学園に戻るチームと、展望台で遊ぶチームに分かれて過ごしました。

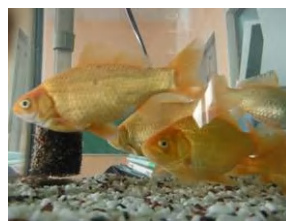
昆虫飼育中!!

日差しが暖かくなり、寒さが和らぐようになると、生き物たちが動き始めます。そうになると、子ども達も生き物たちを探して動き始め、靴箱の一番上のスペースに、飼育ケースが並びます。



やはり一番、たくさんいるのはトカゲやカナヘビです。土を入れ、草や葉っぱのお家を作って、せっせと餌となる虫を探してあげています。

中には毛虫が入っている飼育ケースもあります。今年は 2 センチほどの大きさの毛虫がたくさん園庭を這い回っており、最初はみんな嫌がっていたのですが、触ってみても刺されないことがわかると、飼育ケースに入れて、毎日新鮮な葉っぱを入れてあげるほど大事に育てています。



もちろん、大事にしているのは飼育ケースの中だけではありません。水槽の中に、毎日、忘れずに餌をあげて大きくなった金魚も健在です。時々、同じ水槽の中で、喝破池から捕まえてきた生き物も同居しています。

大きさは違っても、大切な命をもった生き物です。大事にお世話をして欲しいと思います。



若竹学級たより

快い風が吹き抜ける 5 月

重なり合った若葉から、快い風が吹き抜けていきます。学習にもスポーツにも絶好の季節となりました。

子どもたちは新しい学年、新しい教室に慣れ、生き生きと活動しています。

新任教職員の紹介

本年度の人事異動で 3 名の教職員が転入して参りました。前任者同様、分教室の教育活動にご協力ご支援をよろしくお願いいたします。

氏 名	前 任 校
にしおか やえこ 西岡 八重子	高松市立下笠居中学校
うえまつ しげる 植松 繁	高松市立協和中学校
たなか ゆうさく 田中 雄作	高松市立協和中学校

学級担任からのごあいさつ 中学校

にしおか
西岡

この春、桜のトンネルをくぐり、青峰学級に赴任しました。毎朝、車の窓を開け、山のすがすがしい空気を思いっきり吸い込みながら通勤しています。



うえまつ
植松

数学では具体的なものを使って考えたり、身の回りの事象との関連を考えたりして一人でも多くの方が「分かる喜び」を味わえるようにしたいと思います。



たなか
田中

4 月からお世話になります。体育の教師で専門はサッカーです。勉強はもちろんですが、生徒と一緒にいろいろな事にチャレンジしていきたいと思ひます。



おおえ
大恵

昨年に引き続き、今年 1 年間も青峰学級でお世話になることになりました。今年も笑顔で元気に頑張りたいと思ひております。



みやけ
三宅

今年もまた 1 年間よろしくお願ひします。子どもたちの思い出が一つでも増えるように、一日一日を大切に頑張っていこうと思ひます。



小学校

くらい
鞍井

今年もお世話になることになりました。「万化を楽しむ」を座右の銘に、日々個々の出来事に、楽しく取り組んでいきたいと思ひます。



以上 6 名です。よろしくお願ひします。似顔絵は担任している子どもたちの作品です。

お菓子作り

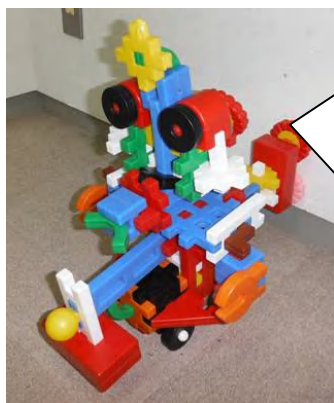
昨年度に引き続き、今年度も調理実習やお菓子作りをしていきたいと思っています。

前々から園長先生からお借りしていたワッフルの機械を、試運転してみよう！と子どもたちと一緒に作ってみました。



こんがりとしたいいにおいがする！と喜んで蓋をあけてみたのですが…鉄板にひっついて取りにくい！という残念な結果となりました（失敗作でも職員がおいしくいただきました）。子どもたちは、パンケーキに変更しました。またリベンジします!!!

日常のヒトコマ



「メカクルマ」
ブロックのパーツ、全部
使って作りました！

4が行事

- 3 日 お花見
- 4 日 おやつ作り
- 6 日 図書館
- 18 日 買物学習
- 20 日 図書館

お知らせ

利用者様の苦情・要望受付について

苦情解決責任者：園長 野田大燈

苦情要望受付担当者：事務員 亀山幸

児童指導員 岡田有梨

(外部受付・相談先) 第三者委員

弁護士 立野省一

住 所：高松市磨屋町 5-8

立野省一法律事務所

電話番号：087-822-6100

評議委員 野田大然

住 所：高松市中山町 1501-166

電話番号：087-882-4022

編集後記 最近、女子たちの間では、女子力が流行っています。職員自身の女子力が問われ…というよりも、生活力が問われているように感じます。

第 231 号発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

T E L 087-882-1000 F A X 087-882-1160

ホームページ <http://netwave.or.jp/~wakatake/>

Eメール wakatake@mail.netwave.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 野田 大燈

- 新田 まち子様 パン沢山
- 株式会社 たまや様 お菓子、文房具